

令和 2 年度「本港特別泊地及び本港環境整備施設」

実績報告書

(グループ代表)

スバル興業株式会社

1 収支決算書

別紙「令和2年度本港特別泊地、本港環境整備施設収支決算書」のとおり

2 利用料金収入実績

(単位：円)

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金	その他収入		
4月	327,461	296,390	9,270	565,896	67,225
5月	326,590	0	5,150	2,454,919	▲2,123,179
6月	326,590	1,098,980	120,510	2,666,408	▲1,120,328
7月	326,590	1,288,490	105,060	2,596,911	▲876,771
8月	326,590	2,492,050	235,870	2,873,083	181,427
9月	326,590	1,522,690	122,570	2,686,375	▲714,525
10月	326,590	1,187,380	94,760	2,593,234	▲984,504
11月	326,590	1,427,050	125,660	2,619,676	▲740,376
12月	326,590	1,267,050	219,390	2,715,806	▲902,776
1月	326,590	863,340	82,400	2,558,693	▲1,286,363
2月	326,590	1,161,110	150,380	2,343,026	▲704,946
3月	2,655,320	1,085,670	124,630	2,276,890	611,730
計	6,248,681	13,690,200	1,563,560	28,950,917	▲7,448,476

3 施設の利用状況

本港特別泊地（ゲストバース）

月	艇数	金額
4月	29隻	94,370円
5月	0隻	0円
6月	88隻	289,430円
7月	130隻	468,740円
8月	296隻	925,950円
9月	141隻	519,670円
10月	104隻	348,940円
11月	138隻	447,970円
12月	70隻	222,930円
1月	62隻	201,000円
2月	49隻	172,640円
3月	91隻	302,370円

計	1,198 隻	3,994,010 円
---	---------	-------------

本港環境整備施設（駐車場）

月	駐車場利用数	金額
4月	673台	202,020円
5月	0台	0円
6月	2,578台	809,550円
7月	2,627台	819,750円
8月	4,764台	1,566,100円
9月	3,026台	1,003,020円
10月	2,448台	838,440円
11月	2,969台	979,080円
12月	3,309台	1,044,120円
1月	2,331台	662,340円
2月	3,122台	988,470円
3月	2,450台	783,300円
計	30,297台	9,696,190円

4 施設の管理に関する業務実施状況

(1) 施設の維持管理

	業務内容	事業計画に定める作業頻度	実施回数	実施状況
管理	施設の管理を適正に行う 施設内の適正な維持と異常発生時の対応	適宜	適宜	適正に行った
巡視	巡視、異常発見時の処置と安全確保。	午前・午後 1回	毎回実施	適正に行った
清掃	施設及び周辺清掃	1回/2日	毎日実施	適正に行った
植樹林等の維持管理	植栽帯の維持管理 樹木の生育状況点検 病害虫の点検 病害虫の駆除 剪定・除草	1回/年 1回/3月 適宜 適宜	1回/年 4回/年 3回/年 8回/年	適正に行った

保守点検	保守点検、異常発見時の処置	1回～4回 ／年、施設によつて1回 ／月	全ての施設・設備において月1回保守点検を行った	適正に行った ※通常点検は毎日実施した
修繕	施設の保全、維持修繕	適宜	応急的修繕：無	

(2) 施設の運営に関する業務

	業務内容	事業計画に定める作業頻度	実施状況
受付・案内	利用者の受付・案内、届出の受理	適宜	毎日実施
指導	艇の誘導、悪天時の指導等	適宜	毎日実施 気象情報等は口頭及び掲示で利用者へ伝達

(3) 自主事業の実施状況

収入計 4,449,960 円
 支出計 4,074,129 円
 収支 375,831 円

令和2年度自主事業収支内訳

項目	収入	支出	収支
給水サービス	5,500	4,675	825
クルージング	86,000	40,440	45,560
レンタルBBQサービス	4,054,460	3,649,014	405,446
海王丸特別泊地一部有償提供	318,000	380,000	▲76,000
計	4,449,960	4,074,129	375,831

(4) 苦情・意見等

(単位：件)

月	口頭	電話	文書	アンケート	その他	月合計
4月	0	0	0	0	0	0
5月	2	0	0	0	0	2
6月	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0
8月	2	0	0	0	0	2
9月	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	42	0	42
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0
2月	1	0	0	0	0	1
3月	0	0	0	0	0	0
合計	5	0	0	42	0	47

苦情・意見等の内容	対応状況
<ul style="list-style-type: none">・ 泊地利用に伴うご意見 利用料金が高い。・ 泊地夜間利用への要望（恒例）・ 港内徐行をしない船による曳波被害・ ゲストバースで給油が出来ないのか。	<ul style="list-style-type: none">・ 艇の大きさに応じた公平な料金改定である旨の説明にて対応。・ 混雑状況によって狭くなってしまう事を説明。<ul style="list-style-type: none">・ 規定により 9:00~18:00 の利用時間をご案内。例外は荒天避難及び機関故障艇である旨の説明を実施。・ 最徐行での航行を呼びかけるのぼりや、SNS 等での発信を実施。・ 警戒船にて港内で最徐行のアナウンス実施。・ 曳波をたてた船長に口頭での注意喚起を徹底。・ 海上保安庁へ巡視艇での見張り協力などの実施。・ 最寄りの給油所をご案内。

(5) アンケート結果
別添資料参照

(6) 運営上の問題等

うらりゲストバースをご利用されますお客様のプレジャーボートの大型化が近年目立って来ています。現状でのうらりゲストバースでのスペースでは、GW・ハイシーズンになりますと受入が出来ずに他の係留可能な場所行ってしまうのが残念でなりません。また、三崎に寄港されるお客様も増加する中、三崎港内を徐行されないお客様も増えてきていますが、ベイマリーナ城ヶ島と協力をして警戒船にて「港内徐行」のアナウンスを船上より行っています。また、岸壁からの旗及び拡声器やSNSによる注意喚起を引き続き行い、ゲストバースをご利用される曳波を起こした船長には、直接お話をさせて頂き、曳波を起こさないようお願いをしております。横須賀海上保安庁とも意見交換を随時行い引き続き警戒の協力をお願いして行きます。また、うらりゲストバースをご利用されるお客様は、高齢の方や女性の方も多くなって来ている中、船からの乗降りが安全に出来るよう将来的にバリアフリーへの対応を希望致します。

また、2月14日に交流広場駐車場を利用されたお客様が、ブレーキとアクセルを踏み間違えにより、車止めを乗り越え、植栽をなぎ倒してボードウォークの支柱に激突して車は停止するという、物損事故が発生しました。幸いなことに事故に巻き込まれた人も居ませんでした。事故を起こした車も落水せずに済み運転者にもケガ等はありませんでした。事故当日に東部漁港事務所へ連絡及び翌日に東部漁港事務所へ報告の為訪問を行いました。今現在のボードウォークは、保険修理対応によりまだ、修理作業進んでいない状況です。

(7) 県との主な連絡調整等の状況

主な報告の手段は日報並びに月次報告書にて行っている。
その他、改善要望点など、ご相談する機会を適宜に頂いております。

(8) 事業計画書に掲げた特色ある取組の実施状況

特別泊地における案内・誘導業務では、これまでのノウハウを活かしたサービスを引き続き継続して提供しております。適切及び安全な案内誘導をはじめ、係留

ロープ及びフェンダー（防舷材）の無料貸し出しも継続おります。通常利用や荒天避難で入港されるお客様からも変わらず高い評価を頂いております。
また、施設の利用については、定められた利用規則及び利用料金をお客様に分かりやすく提示し、平等利用の確保を継続して心がけております。

地域連携への取り組みとして、今年度はコロナ禍において新型コロナウイルス感染拡大防止対策により各種イベント等中止となりましたが、今後も「三崎・城ヶ島花火大会」等各種地元イベントや釣り大会では積極的に協力を努め、周辺地域貢献と施設利用率向上に貢献することを継続していきます。

また、8月に発生城ヶ島大橋での水難事故に伴う消防からのお応援対応や12月の横須賀三浦消防との合同訓練実施など「水難救済会・横須賀三浦消防・小型船舶安全協会安全指導員」等当該施設を利用したイベントはすっかり定着しており、利用客、イベント主催者からも高い満足度を得ております。

HP 及び SNS を活用して、各種イベント最新の情報やお知らせ等を利用者へ発信をしております。

(9) その他（自己評価、今後の課題等）

（自己評価）

4月7日に政府より新型コロナウイルス感染拡大を受け「緊急事態宣言が発令」され、新型コロナウイルス感染拡大防止の為8日には、「うらりマルシェ」休館・「BBQ」閉場・「水中観光船・渡船」運休、15日には本港環境整備施設（駐車場）の閉鎖、25日には本港環境整備施設（停係留施設）閉鎖の協力要請に伴い実施致しました。緊急事態宣言が発令の中、ゴールデンウィーク時の本港環境整備施設（停係留施設）の運営について、問合せがありましたが各スタッフによる丁寧な対応により、お客様にはご理解を頂いております。

また、緊急事態宣言が発令されてから、約1ヶ月半にかけての5月25日には「緊急事態宣言」が解除されましたが本港環境整備施設（駐車場・停係留施設）については5月31日までの閉鎖・協力要請の為、引き続き閉鎖を実施致しました。5月30日・31日は、「緊急事態宣言」が解除されてのすぐの週末の為、三崎へ来場を希望されるお客様からの問合せも多くまた、作業船「35」による三崎港内にて、「港内徐行」のご協力と三崎に寄港されるお客様への自粛継続案内を2日間させて頂き、お客様にはご理解を頂いております。

また1月7日には1都3県に2回目の「緊急事態宣言発令」、3月22日に2回

目の「緊急事態宣言」がようやく解除されましたが、その後は4月21日までは「リバウンド防止期間」として「人との接触機会を減らす取り組みの徹底」・「外食時の感染拡大防止対策の徹底」などの新型コロナウイルス感染拡大防止対策の協力要請に伴い、ご来場されますお客様ならびにスタッフの健康と安全確保を目的とした予備措置を考慮とし、日常生活での基本的感染対策として「①まめに手洗い、手指消毒②咳エチケットの徹底③温度管理と換気④身体的距離の確保⑤マスク着用⑥3密の回避⑦毎朝の体温測定・健康チェック」を引き続きスタッフ一同行っております。

ヒヤリハット検証では反省すべき点もいくつかありましたので、引き続き危険予知活動を行うことにより安全管理を徹底してまいります。

泊地利用料金につきましては、料金に関するご不満はほとんど聞かなくなりましたが、利用時間等についてご意見を頂きました利用者様には、出来るだけ丁寧な対応でご説明をさせて頂いております。また、駐車場につきましてもクレームはほぼありません。また、今年度も海業公社との連携や情報共有がスムーズに行われましたが、コロナ禍において新型コロナウイルス感染拡大防止対策により「海の駅フェスタ」、「うらりカップ城ヶ島ヨットレース」、「三崎・城ヶ島花火大会」、「カワハギ釣り大会」、「うらりマルシェ年末年始イベント・大晦日サンセットクルーズ・初日の出クルーズ」等、毎年イベントの利用者や主催者から大変好評を得ております各イベントを残念ながら中止とさせて頂きました。

(今後の課題)

- ・「うらりマルシェ」「うらりカフェ・テイスト」や地元と連携した泊地及び駐車場利用率の更なる向上。
- ・三崎漁港内における曳波による被害、トラブル防止の為の安全航行について安全指導。
- ・充実したイベントの開催による利用者へのサービスの向上。